

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

担当エリアは富岡第二地区と金沢シーサイドタウン地区はそれぞれに65歳以上の人口割合が増え、今後急速に高齢化が進行する見込みである。介護予防の取り組みは引き続き重要であるが、それでも地形や住居の制約、疾患等から移動が困難になり、地域社会から孤立する方が増えるリスクが高い地域であると思われる。地域支援の担い手の発掘と見守りを兼ねた気軽に立ち寄れる居場所をつくっていくことが必要であると思われる。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
☐	☒	エリア内の誰もが気軽に立ち寄れる場所に、地域住民の居場所となる拠点を、住民主体で継続的に設置できるよう調査、交渉を行っていく。
☐	☒	認知症の方や家族から話を聞く機会を設けるなど「認知症を前提とする社会」についての普及啓発を行い、認知症は「誰にも関わること。誰もが関わること」ということを意識して、日常の中でできることを一緒に考える機会を設ける。
☐	☒	毎月の会議等で地域課題について情報交換を行い、地域ケア会議の議題として適切なケースを検討する。
☐	☒	施設利用団体だけではなく、様々な来館者や地域の会議などに出席した際にもコミュニケーションを積極的にとり、地域ニーズの把握に努める。
☐	☒	基幹相談支援センターや後見の支援室等との連携事業を通じて、高齢化していく障害者の権利擁護につなげていく。

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

☐ 区からのコメント